

01 各球団の歴史と評価

①各球団の年表（図1）及びリーグ別の評価グラフ（グラフ1）を作成

②各球団、各球場の変遷とグラフの変化点との関係性に注目し調査

③本拠地分布マップを作成し各球場の位置関係や所有・運営を視覚的に表現

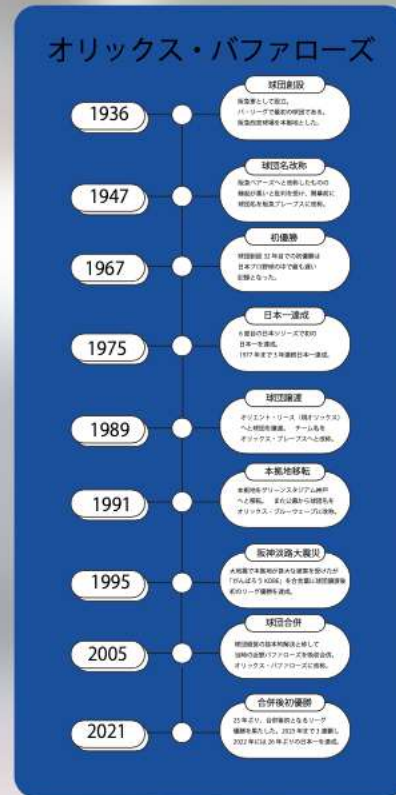


図1 オリックスの球団年表

02 各球場の運営母体と方針

④各球場の個別具体的な情報を調査し、それぞれをまとめた。下段では筆者が知り得た情報を元にコメントを作成

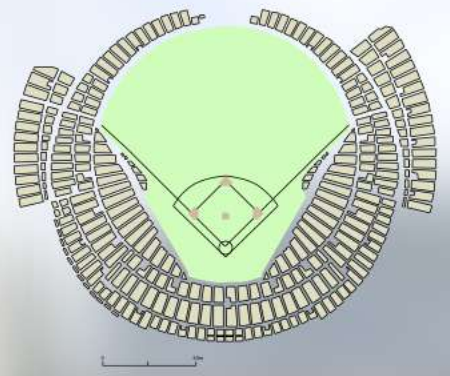
⑤球場周辺の簡易的なロケーションマップと球場の平面図を作成

⑥球場所有と運営が異なる公設民営方式の球場の取り組みに注目し調査

横浜スタジアム
 球場所在地：神奈川県横浜市中区
 開場年月：1978年4月
 収容人数：33,912人
 土地所有：国
 施設所有：横浜市
 施設運営：株式会社横浜スタジアム



横浜スタジアム 平面図



- ・星に願いをプロジェクト
- ・BALLPARK ADVENTURE by BALLPARK FANTASIA
- ・スタジアム内グラウンドの朝開放

03 横浜スタジアムと周辺環境

⑦横浜 DeNA ベイスターズでは親会社が DeNA に変わった 2011 年頃 から積極的にまちづくり事業を行うように



⑧そのチームの地域住民へのサービス貢献活動が十分に行われているかどうかという質問項目に関して 2011 年時点で最下位ながらも 2022 年から 3 年連続一位を記録



⑨2025 年現在においても球場周辺において、「歩きやすいまちづくり」を主なテーマとして大規模な再開発が進行中

04 最後に

DeNA が横浜の関内地域周辺に関して行っている都市計画やまちづくりのように、地方でプロチームを誘致する時には、球場などの施設を指定管理者制度で運営するだけでなく、行政と会社がタイアップしてスポーツまちづくりを進めていかなければならない。そうして誕生したプロスポーツはまちづくり的な地域おこしだけに留まらず、衰退が進む地方都市における旧市街地再生の一途となるであろう。

